自衛隊群馬地方協力本部
JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

危機管理フェアに参加しました！

1月17日（金）・18日（土）に開催された「群馬県 危機管理フェア」に昨年に引き続き、今年も参加しました！

「危機管理フェア」には県内の団体や企業、高校が出展し、防災の知識や備えの大切さを知っていただく為に、保有する装備・資材等の展示や活動の紹介、展示販売等を行っていました。

自衛隊はブースにて、県内の相馬原駐屯地に司令部を置く第12旅団の持つ装備の紹介やオートバイの展示、パネル展示などの他に、屋外でパジェロ、高機動車、中型トラックの展示、炊事車による豚汁の配布を行いました。

また、群馬地本のだるまんや群馬県のぐんまちゃんの他、群馬県警察の上州くん・みやまちゃん、損保ジャパン日本興亜のジャパンダ、気象庁のはれるん、日本赤十字社のけんけつちゃんが集合し写真撮影等、活動に協力していました。

多くの方に自衛隊のブースに来ていただけ、事前に用意していた配布物等もすべて配布出来ました。来ていただいた方ありがとうございました！

今後も県内イベント等で広報活動を行いますので見かけたら是非お立ち寄りください!!

援護講話

群馬地本群馬地域援護センターは一月二十三日、新町駐屯地において令和元年度援護講話を実施した。

本講話は、「令和二年度及び令和三年度定年退職予定隊員等に対して、健康管理の重要性を認識させるとともに、再就職に対する心構えを醸成すること」を目的に行われ、群馬県内の駐屯地等で勤務する二十二名の隊員が参加した。

講話は、新町駐屯地業務隊衛生科長が「定年退職前における健康管理」と題し、再就職で企業が求める健康情報と今後の健康改善方法等について、同じく厚生科の森田職員が「退職共済年金」について説明した。

また、自衛隊OB二名を講師に迎え、株式会社群馬銀行で勤務している青木氏（＝写真）とマニュライフ生命保険株式会社で勤務している小坂氏が企業での勤務実態や後輩隊員に対するアドバイス等を熱く語った。

最後に、群馬地本予備自衛官室長が予備自衛官の重要性について説明し、予備自志願を依頼した。

援護講話に参加した隊員からは「身近なOBの話が聞けて参考になりました。今後の就職活動に役立てたい」「改めて健康管理の重要性を再認識しました。喫煙は止めようと思いました」等の声が聞かれた。